

NHK

月刊みなさまの声 2021年7月



<目次>

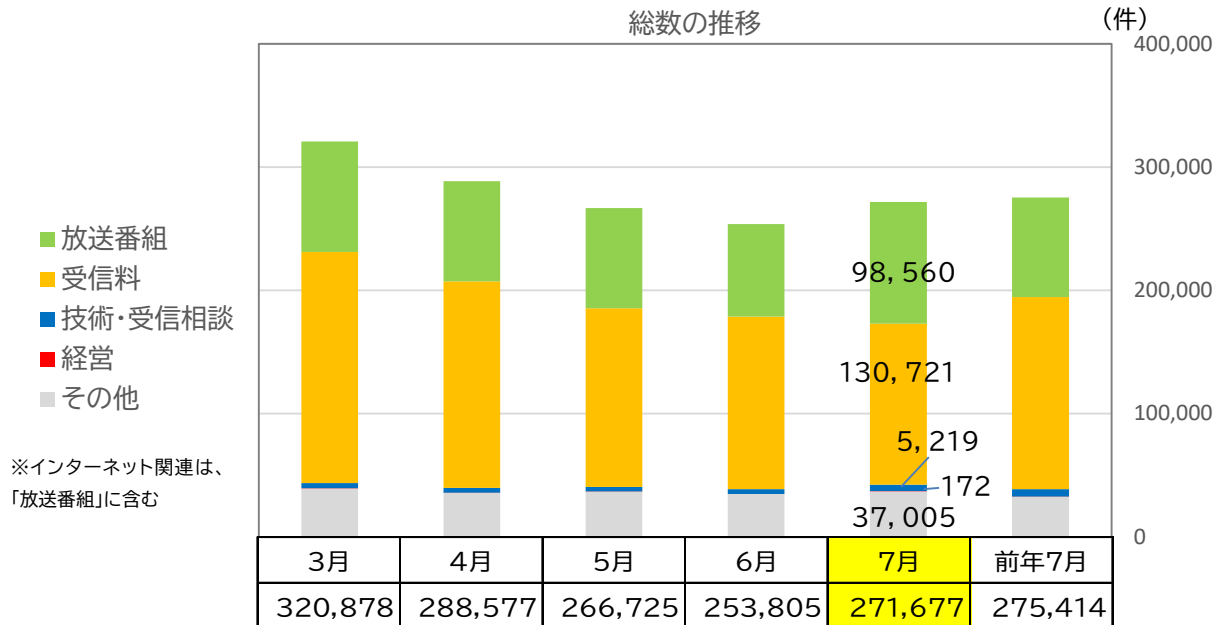
1. 視聴者の声の総数と内訳	2
2. 放送番組への意見と対応	3
3. 受信料への意見	5
4. 技術・受信相談への意見	5
5. 経営への意見	5
6. インターネット活用業務への声	5
7. 反響が多かった番組から	6

広報局視聴者部

1. 視聴者の声の総数と内訳

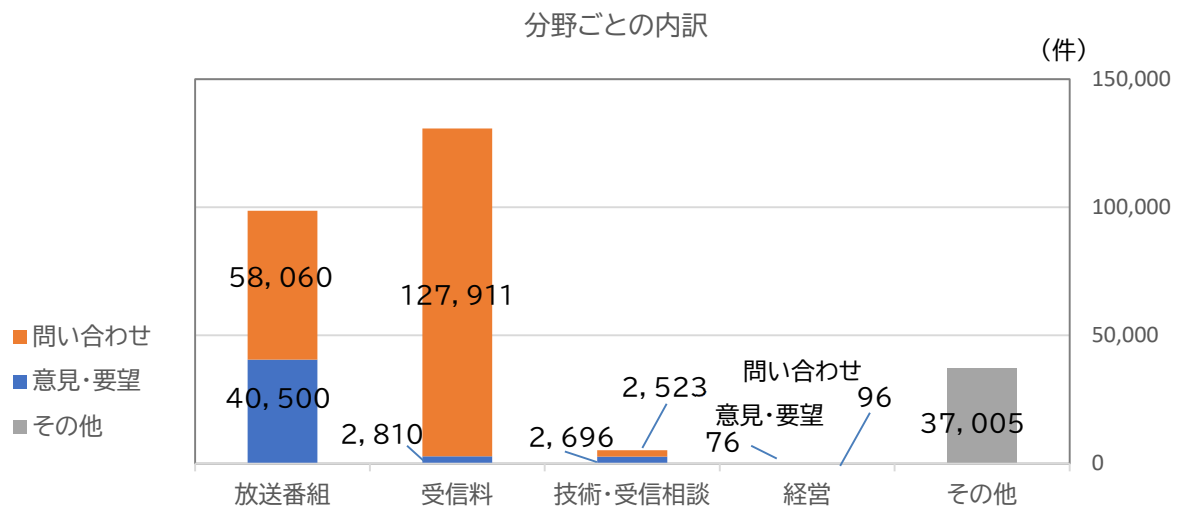
■総数の推移と内訳

7月にNHKに寄せられた視聴者の声の総数は271,677件で、前月より17,872件増加し、前年同月より3,737件少なくなっています。分野別の内訳は、「受信料」に関するものが最も多く、次いで「放送番組」「その他」などとなっています。



■分野ごとの内訳

放送番組に関する声のうち、放送日や出演者等に関するお問い合わせが58,060件で58.9%。番組内容や演出などに関する意見・要望が40,500件で41.1%でした。また受信料に関する声のうち、料金や手続きに関するお問い合わせが127,911件で97.9%を占め、意見・要望は2.1%にあたる2,810件でした。



いただいたお問い合わせや意見・要望に対しては、あらかじめ準備した資料などをもとに、ふれあいセンターをはじめとする受付窓口でお答えしたほか、内容によっては番組制作の担当部局などと連携して対応を完了しています。

2. 放送・番組への意見と対応

放送や番組に寄せられた視聴者の声は98,560件、このうち番組に対する意見は40,007件で、分類すると好評意見がおよそ15%、厳しい意見はおよそ85%でした。

また声をもとに確認し、対応した事例は、テロップのミスや誤読などで50件(6月は57件)、ホームページの関係は27件(6月は28件)でした。7月23日に開幕した東京オリンピックでは、国の紹介や選手の名前を間違えて読み上げたケースでご指摘をいただき、放送中に訂正しました。また「ホームページに掲載された競技日程が違う」という声をすぐに現場に伝え、修正しました。

このほか下記のように、いただいた声に対応して、新型コロナウイルスの感染状況について放送で使う地図を改修しました。

■対応事例 “誰でも見やすく”新型コロナウイルス感染 地図改修

新型コロナウイルスの全国の感染状況をニュースなどで伝える際、感染者が過去最多となった自治体を『赤色ベースに黒文字』で紹介していましたが、色覚に障害のある方や高齢の方などから「見えづらい」というご意見が複数寄せられていました。



【視聴者から寄せられた声】

- 都道府県を赤色に塗りつぶした上に黒色の文字は、大変見づらいので変更してもらいたい。(70歳以上男性)
- 都道府県が赤色で強調されていますが色が濃すぎて文字が見えにくい。重要な情報だと思うので色の調節をするなど改善していただけるとうれしいと思う。(19歳以下男性)



【改善前】



このため、夜7時に放送している「NHKニュース7」の制作現場では色の組み合わせを変えて3つの案を作って、「どれが一番分かりやすいか」を色覚に障害のある人に実際に確認してもらいました。

また健常者が見て、一目でわかりやすいかどうか、テストを繰り返しました。



その結果、赤色の色味を薄く変更した上で、数字を黒色から白抜きの変更にしました。また、別のご意見にも応えて長崎県の場所を変更して、より日本地図の形に近いように整えています。

【改善後】



新型コロナウイルスの感染状況については、視聴者の関心も高く、この地図は「ニュース7」を始め、朝の「NHKニュースおはよう日本」や夜の「ニュースウオッチ9」などさまざまなニュース番組で使われています。

視聴者の方からは、さっそく改善した点について声が寄せられました。

【視聴者から寄せられた声】

- ・ 赤に白文字で表示されていたので、自分の意見を取り入れてもらえたと思ってお礼の電話をした。ありがとう。(60代男性)

色使いや文字の大きさなど、さらなる改善を求めのご意見もあり、今後も誰にでも分かりやすい「伝わる」番組づくりを目指して、さまざまな取り組みを進めていきます。

■7月 反響が多かった番組

東京2020オリンピックへの反響が中心になりました。また、大谷翔平選手の活躍が目立ったMLB中継への意見・要望も多く寄せられました。

東京2020オリンピック(7/23) (総合、BS1、BS4K、BS8K、ラジオ第1) 開会式など	1,676件
東京2020オリンピック(7/28) (総合、総合ガ、Eテレ、Eテレガ、BS1、BS4K、BS8K、ラジオ第1) テニス 錦織出場試合の中継がないことへの不評意見・問い合わせ、バレーボール男子など	1,569
MLB2021「レッドソックス」対「エンジェルス」(7/7) (総合、総合ガ) 大谷登板試合	1,467
デザインあ (Eテレ) 出演者関連	1,284
MLB2021「エンジェルス」対「ツインズ」(7/26) (BS1) 中継がないことへの不評意見など	1,267
東京2020オリンピック(7/24) (総合、総合ガ、Eテレ、Eテレガ、BS1、BS4K、BS8K、ラジオ第1) 柔道、サッカー女子など	1,114
東京2020オリンピック(7/25) (総合、Eテレ、Eテレガ、BS1、BS1ガ、BS4K、BS8K、ラジオ第1) 卓球混合、テニス男子など	1,066
東京2020オリンピック(7/29) (総合、総合ガ、Eテレ、Eテレガ、BS1、BS1ガ、BS4K、BS8K、ラジオ第1) 卓球女子、テニス男子など	942
東京2020オリンピック(7/27) (総合、総合ガ、Eテレ、Eテレガ、BS1、BS4K、BS8K、ラジオ第1) ソフトボール、サッカー女子、柔道など	912
東京2020オリンピック(7/26) (総合、総合ガ、Eテレ、Eテレガ、BS1、BS1ガ、BS4K、BS8K、ラジオ第1) スケートボード女子、バスケットボール男子、柔道など	899

3. 受信料への意見

受信料に関して7月は、130,721件の意見や問い合わせが寄せられました。このうち98%が問い合わせで、受信料の金額についての問い合わせや引っ越しなどに伴う手続きなどについてでした。いただいたお問い合わせに対しては、ふれあいセンターをはじめとする受付窓口でお答えしました。

新型コロナウイルス感染防止のため、受信契約の各種手続きについてはNHKオンライン「受信料の窓口」の利用をご案内していますが、スマートフォンの普及に伴い、「モバイル端末からスムーズに手続きできるようにしてほしい」という要望が寄せられています。こうした声に応じて、モバイル端末向けの「新規契約」「住所変更」「衛星契約変更」など各ページのデザインを順次変更し、各種手続きの利便性の改善を図りました。

4. 技術・受信相談への意見

技術・受信相談に関して、7月は、5,219件の意見や問い合わせが寄せられました。このうち、映像が受信できないなどの申し出が2,878件、受信方法やテレビのリモコンの操作方法などの技術相談が1,529件でした。7月は、大雨の影響でBSの受信状況が良くないという相談や、オリンピック中継に関する受信相談などが多く寄せられました。それぞれ必要に応じて個別に訪問するなどして対応を行いました。

5. 経営への意見

NHKの経営に関して7月は172件の意見や問い合わせが寄せられました。このうち、ふれあいセンター(放送)で受け付けた意見や問い合わせは81件でした。内訳は、「経営委員会」関連が28件、「公共放送」関連が12件、「経営計画」関連が10件、「不祥事」関連が6件などでした。このうち「経営計画」では、「ラジオの語学番組はどうなるのか」、「ラジオ第2の送信設備の活用を考えるべきでは」、「格差が広がる中、受信料の負担のありかたも検討すべき」などの意見や問い合わせが寄せられました。

6. インターネット活用業務への声

ふれあいセンターや全国の放送局に寄せられた視聴者の声のうち、インターネット活用業務についてのは11,716件。そのうち77%が「NHKプラス」についてでした。

東京2020オリンピックが始まると、NHKプラスの同時配信が「メッセージ」の画面表示なしで視聴できることや、オリンピック特設サイトに関する問い合わせや意見が増えました。

これまで視聴者から多くの要望が寄せられていた「再生速度を変える機能」が7月からNHKプラスに追加されたことについて、「時間の節約になる」「忙しい時も多くのニュースを見られるようになった」などの声が寄せられました。また、地方向け番組を視聴できる「ご当地プラス」についても、「各地の番組を見たいので登録したい」といった声が寄せられました。

7. 反響の多かった番組から

■東京2020オリンピック

7月21日(水)～8月8日(日)※競技は21日より開始

総合、総合サブ、Eテレ、Eテレサブ、
BS1、BS1サブ、BS4K、BS8K、ラジオ第1

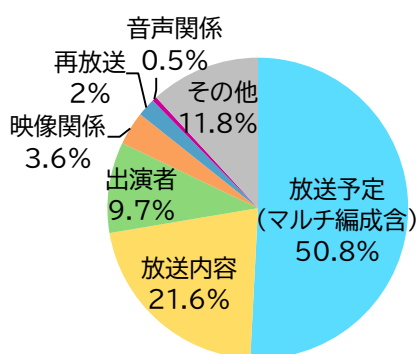
反響27,994件 ※7月19日～8月9日で集計
(好評意見496件、厳しい意見10,287件、
問い合わせ13,958件、その他の意見3,253件)



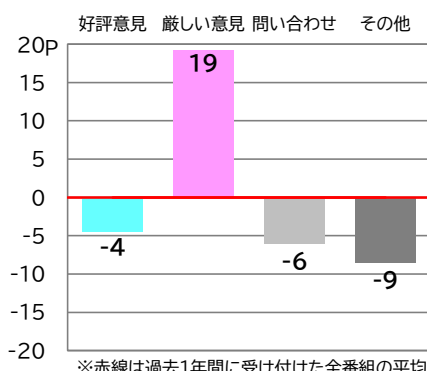
205の国と地域、難民選手団を迎えて開催された東京オリンピックが、8月8日に幕を下ろしました。33競技339種目で争われたこの大会、日本が獲得したメダルの合計58個、金メダル27個はともに史上最多を更新しました。視聴者から寄せられた反響総数も27,994件と過去のオリンピックと比べて突出して多く、NHKふれあいセンター(放送)では受付時間を延長して対応にあたりました。

一方で大会は、新型コロナウイルス拡大による1年間の延期や緊急事態宣言、大半の会場で無観客開催など異例づくしの運営を余儀なくされました。期間中も連日全国各地で感染者数が急増が報告され、コロナ禍での大型イベントのあり方、放送での取り上げ方についての意見が今も届いています。

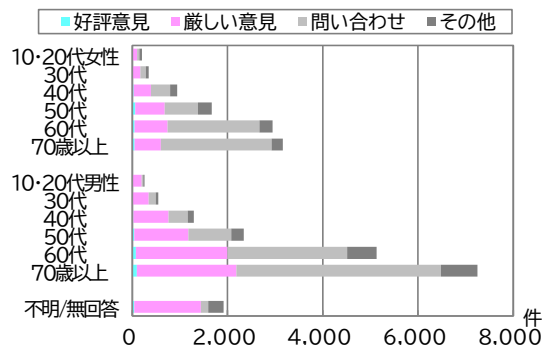
●受付内容の内訳



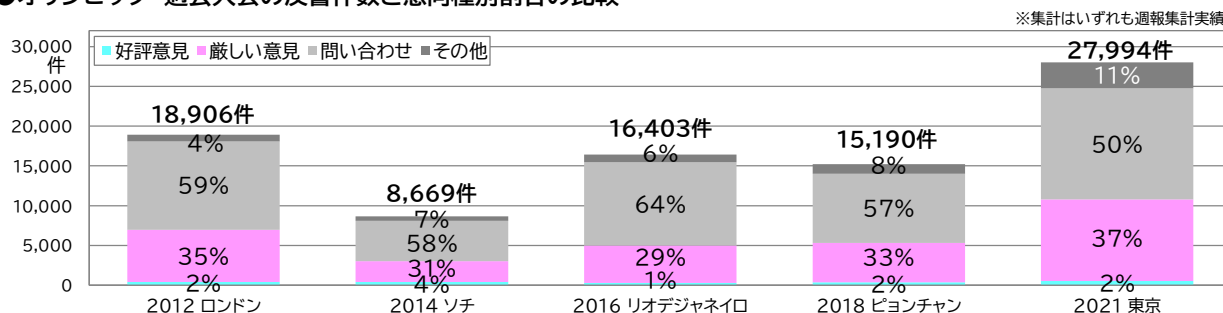
●意向種別の相対比較



●意向種別×年代性別



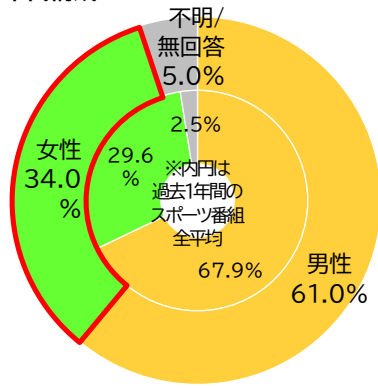
●オリンピック 過去大会の反響件数と意向種別割合の比較



寄せられた声の割合は男性が6割以上を占めましたが、スポーツジャンルのみに限ると過去1年間の平均よりも男性の割合が7%近く少なく、逆に女性の声の割合が4%強多くなっています。

反響内容の内訳は放送予定に関するものが半数以上を占め、マルチ編成のチャンネル切り替え操作についての問い合わせやサブチャンネルの画質に対する指摘が目立ちました。これに続いたのがコロナ禍における番組編成への要望や感染対策の啓発を望む声、定時ニュースや定時番組の変更や休止に関連した問い合わせなどでした。番組の内容や演出については、解説者やゲスト、選手インタビューに対する感想、国際信号用に制作された映像のスコア・国名の表示やカメラワークなどのほか、字幕や手話などユニバーサルサービスについての意見などが届きました。また、今回増強されたライブストリーミングやSNSなどデジタル関連サービスに対しても多くの問い合わせがありました。

●性別年代構成



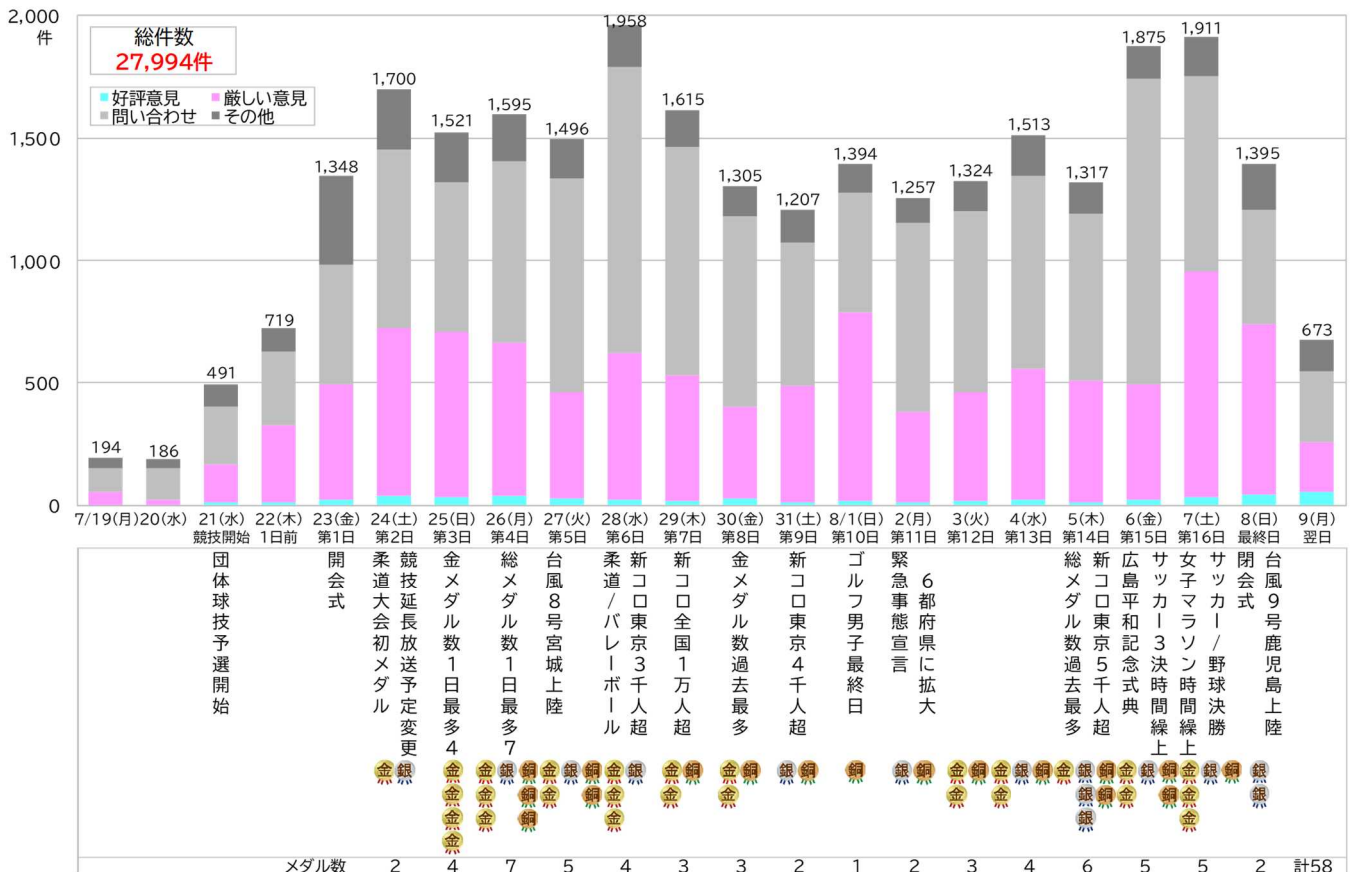
●反響内容の主な内訳（重複カウントあり）

内容	反響数
マルチ編成操作/映像	2,277件
新型コロナ関連	1,308件
ニュース/番組の休止	1,279件
出演者	1,012件
ライブ/見逃し配信	847件
画面表示(スコア/国名)	752件
カメラワーク	705件
ユニバーサルサービス	412件
逆L字スーパー	265件
インタビュー	203件

受付件数と意向種別の推移を見ると、メダル数よりも放送予定や競技スケジュールの変更に伴って反響が増える傾向にあります。7月28日は柔道、バレーボール男子・日本対イタリア、卓球など期待の競技や人気カードの放送予定が変更されたほか、8月7日にはサッカー男子・決勝の生中継を予定していたものの、前枠の空手が延伸したためサッカーを時差再生で対応しました。さらに、ゴルフ男子・3位プレーオフの決着前にボクシング女子に切り替えた日や、サッカー男子・3位決定戦日本対メキシコの開始時間が運営側の判断で繰り上がった日にも厳しい意見や問い合わせが相次ぎました。

オリンピックでは、会場や進行状況、延長ルールが異なる競技を並行して伝えたり、メダルマッチを連続で生中継したりと、単独の競技中継にはない複雑な作業が多発します。“当初予定の堅持”と“柔軟な変更対応”という相反する命題について、先述のマルチ編成とあわせ最適解の模索が続きました。

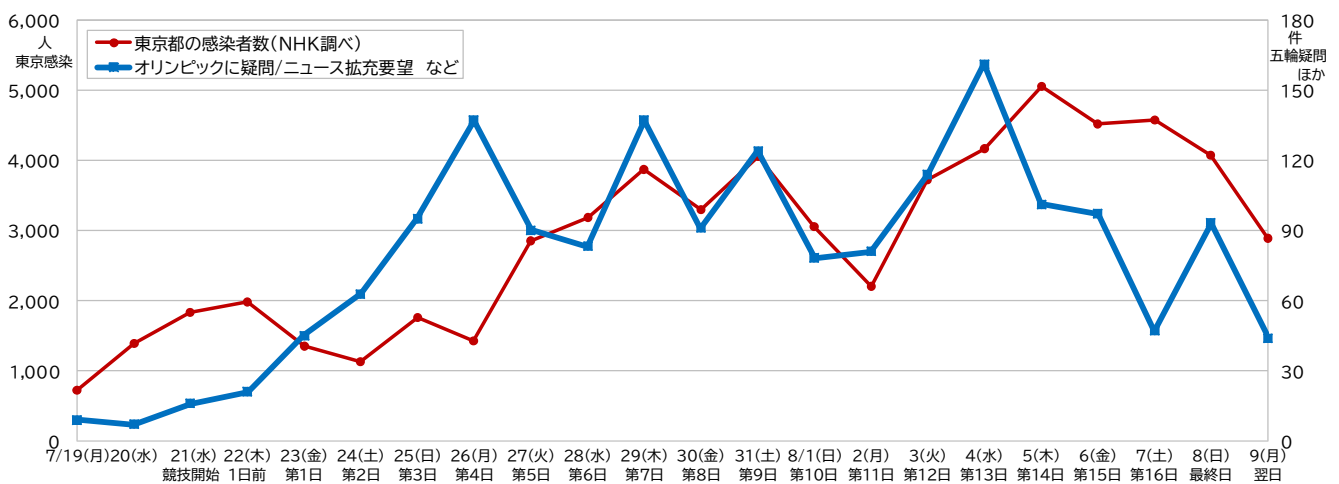
●大会期間中の受付件数と意向種別の推移



新型コロナウイルス“第5波”の脅威は、大会や視聴者意向にも影を落としました。東京都で1日あたりの新規感染者数が3,000人を突破した7月28日以降も連日拡大傾向が止まらず、8月5日には東京で5,000人、全国で15,000人を超えました。開幕前からの厳しい意見、新型コロナ関連のニュースの充実を望む声は、24日にパラリンピックが開幕してからも届いています。近代オリンピックの開始から125年、ウィズコロナ時代における大型スポーツイベントのあり方が問われた大会となりました。

また、出水期の開催となった今大会、期間中に台風が2回上陸したほか、各地で酷暑が続きました。熱中症への注意喚起のため、各放送局が当地の事情に応じて競技中継中も逆L字スーパーを実施して情報提供に努めました。さらに、8月8日に台風9号上陸の際には閉会式の途中で特設ニュースを2回実施、最大級の警戒を呼びかけました。(閉会式中継は総合サブチャンネル、Eテレ、BS4Kで継続)

●東京都の感染者数とオリンピック開催に疑問/ニュース拡充希望意見の推移
(番組名「東京2020オリンピック」受付分)



【主な内容】

○放送全般について

- ・ 大会を運営する側も放送する側も新型コロナ対策のために苦労が絶えない大会だったと思うが、ステイホームで応援を楽しむことができた。パラリンピックも楽しみにしている。(20代男性)
- ・ 試合後に他国の選手同士が互いに健闘をたたえ合うなど、無観客だからこそ選手やコーチたちの人柄や思いがいつも以上に画面を通して伝わり、見ごたえのある内容だった。個人的には観客席以外は特に違和感のない大会だと感じた。(60代男性)
- ・ 高齢者向けデイサービス勤務。毎日壁にメダルの結果を貼り、テレビ観戦する利用者の方々と感動を共有できた。前回1964年の東京大会のときの思い出を回想する方もいて、コロナ禍で大変な今、いつまでも心に残るオリンピックだったと思う。(50代女性)
- ・ ほぼ全ての会場で無観客の今大会、テレビに大きな期待を寄せていた。しかし、放送が人気種目やメダルが有望な競技に偏っていて、公平さを欠いている印象だ。ニュース以外の番組は極力縮小して、他の競技や世界の一流選手たちをもっと幅広く紹介するべきだった。(60代男性)
- ・ 国内開催で競技数も史上最多、放送時間が限られていたと思うが、日本人メダリストにばかりフォーカスしていた感がある。マイナー競技や日本人選手の活躍が見込めない種目に対する取り上げ方が非常に小さくて、いつ行われたのかさえ分からないこともあった。(40代男性)

○新型コロナ関連

- ・ オリンピックを見たい気分、見たくない気分、葛藤が尽きなかった。かつてない困難のなか全日程を終えることができた側面、感染爆発のもと国民に情報を提供するニュースや報道番組は本当に必要十分だったのかという側面。五輪の光と影をしっかりと検証してほしい。(60代男性)
- ・ 苦痛の2週間だった。総合テレビのみならずEテレ、BS1、ラジオなどあらゆるメディアでオリンピックを放送していることが理解できない。新型コロナの猛威や熱中症、地域情報など伝えるべき情報は山ほどあるはず。自分の中の公共放送への信頼が裏切られた気分だ。(50代男性)
- ・ 子どもたちは夏休みだが、コロナ禍のなかどこにも出かけられず我慢させていた。しかし、Eテレもオリンピックばかりで、子ども向け番組のほとんどが見られずとても悲しんでいる。時間帯が変わっても、PCの小さな画面ではなく、いつもの番組を放送してもらえないだろうか。(年代不明)
- ・ 感染爆発の真ただ中のいま、啓発活動にもなり、感染拡大抑止も期待できるL字のコロナ情報をNHKの地上・BS全波で一日中実施できないだろうか。ぜひ検討してほしい。(50代男性)
- ・ 大画面テレビに買い替えたのに、新型コロナのテロップがずっと出ていて、オリンピックの画面が小さくなって見にくい。今すぐに消してほしい。(60代男性)

○マルチ編成、放送予定の変更

- ・ サブチャンネルは、使い勝手も画質も全く褒められたものではない。今回も予約録画がことごとく分断された。大リーグなど単発の生放送が延長し臨時でサブチャンネルを使わざるをえないときはまだしも、確信犯のようにサブでしのぐのはいただけない。安易にマルチ編成を乱発しないための工夫や、発想の転換が必要ではないだろうか。(40代男性)
- ・ 視聴者にはそれぞれに楽しみにしている競技があるのに、放送当日の予定変更が多すぎる。初めから放送がないならあきらめもつくが、急に変わる、なくなるのは論外だ。さばききれない量の放映権を獲得していたのならばいかなものか。後味の悪さばかりが残った。(40代女性)

○演出、ユニバーサルサービスなど

- ・ 興奮気味な解説者が散見され、閉口することがあった。競技や後輩たちへの思い入れは理解できるが、相手選手への敬意を欠いてはならないし、ときには解説なしで雰囲気を楽しみたいときもある。副音声切り替えで「会場音声のみ」の選択肢もあるとよかった。(70歳以上男性)
 - ・ (国立競技場の特設スタジオ部分で)せっかく元オリンピックたちを招いたのに、未経験の競技にコメントを求めるのは、求められるほうも聞かされるほうも厳しいと思う。冗長なトークや的外れな私見よりも、表彰式などをもっと丁寧に伝えてほしかった。(50代女性)
 - ・ 激闘や名勝負、選手たちの素顔を(NHK2020ソングの)「カイト」とともに紹介するハイライトに感動、涙があふれた。勝ち負けによらず、全力を出し切る姿は何度見ても美しく、それをたたえる暖かさが心にしみた。機会があれば何度でも放送してほしい。(50代女性)
- ※NHK2020ソング「カイト」に乗せたハイライトの再放送の要望など131件
- ・ ダイバーシティ(多様性)をテーマに掲げた今大会だが、「男性顔負けの〜」「〜ママさんアスリート」といったコメントを耳にしたり、アップで撮るのは美人の白人女性が多かったりなど、残念な場面もあった。オリンピック精神と世界のトレンドをいま一度意識してほしい。(年代不明)
 - ・ きのう総合テレビで生放送を見たときには(聴覚障害者向け)字幕があったのに、次の日に同じ試合をBSで見ると字幕がない、というケースが何度かあった。いつも生放送で見ることができるとは限らないので、録画のときにも字幕があると助かる。(60代男性)

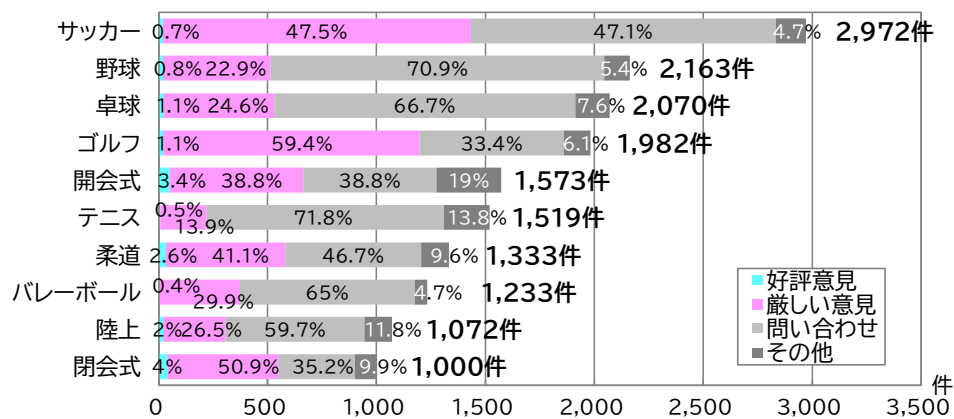
○デジタルサービス関連

- ・ 特設サイトでは動画をPCやスマホで見ることができて大変重宝した。フリーワードを入力すると競技を選択できたり、複数種目が収録されていても見たいシーンをすぐに探せたりなど、工夫が感じられた。来年の北京冬季五輪ではさらなる進化を期待している。（年代不明）
- ・ 馬術やセーリングなど、テレビであまり見られない競技をネット配信で楽しめるのは助かった。残念だったのは配信の解説が英語のみの対応だったこと。オリンピックには競技振興の役目もあると思うので、この種目にもロボット実況など代替措置があればもっとよかった。（年代不明男性）

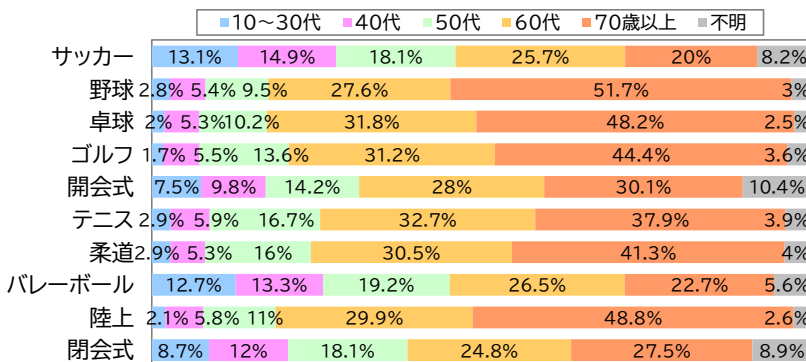
【競技別の動向】

最も反響を集めたサッカーと4位のゴルフは、受付件数の推移の項目で紹介したように放送予定に関する厳しい意見や問い合わせが中心でした。野球は北京大会以来13年ぶり復活そして金メダルと、初戦から決勝戦まで試合のたび放送予定やマルチ編成の操作方法の問い合わせがありました。今大会4つのメダルを獲得した卓球は、野球、ゴルフ、テニスなどすでにプロスポーツで人気と実績のある競技に割って入る3位、選手別でも伊藤選手、水谷選手、石川選手の3人が名を連ねています。このほかメダルラッシュに沸いた柔道、男子が29年ぶりに8強入りしたバレーボールのほか、個人種目からは競泳女子初の2冠に輝いた大橋選手、白血病から復活した池江選手がランクインしています。

●反響件数上位の競技と意向種別割合



●競技別の年層割合



●反響件数上位の選手

選手名	競技名	反響数
錦織圭	テニス	662件
伊藤美誠	卓球	271件
大坂なおみ	テニス	239件
松山英樹	ゴルフ	181件
水谷隼	卓球	109件
渡名喜風南	柔道	68件
石川佳純	卓球	66件
大橋悠依	競泳	65件
池江璃花子	競泳	64件
久保健英	サッカー	59件

○サッカー 2,972件

- ・ (3位決定戦)涙を流す久保選手へのインタビューの「もっと大きくなって帰ってきて下さい」。意味は分かるが残酷すぎて憤りを禁じ得ない。負けて一番悔しいのは選手たち。厳しいスケジュールのなか延長戦を戦い抜いた彼らへの配慮が足りないと思った。(30代男性)
- ・ (決勝戦)Eテレで生中継のはずがBSに変わり、さらにキックオフ直前に空手の中継が伸びてディレイ放送…。日本戦でなくともブラジル対スペインは屈指の好カードだ。テレビの前で待ち続けたたくさんのサッカーファンの気持ちを分かっていない。(20代女性)

○野球 2,163件

- ・ ふだんのプロ野球よりもスピードガンや投球数の表示が出るまで時間がかかるし、出てもすぐに消えてしまう。見ているほうにもリズムがあるので気をつけてほしい。(70歳以上男性)
- ・ (決勝トーナメント)アメリカ戦は民放とのことだが、自分が住む地域ではその系列局がなく、BSも契約していない。該当局が映らない地域限定でNHKが放送したり、同じ競技をNHKと民放が同時放送している時間帯を野球に変えたりするなど、もっと柔軟に運用してほしい。(60代男性)

○卓球 2,070件

- ・ 女子団体の解説者は技術論や選手への目線にとっても好感が持てたが、放送席の抜きの映像がなく顔が分からなかった。オリンピックだからかもしれないが残念だ。(70歳以上男性)
- ・ (女子団体の予定時間に体操が延伸して中継が始まらないとき)テロップで「ライブストリーミングで配信します」と出ていたが、知らない人には全く意味が通じない。視聴方法もあわせて案内すべきだ。(60代男性)

○ゴルフ 1,982件

- ・ オリンピックでしか見られない7人による銅メダルプレーオフ。しかし、日本の松山選手が脱落すると生中継も途中で終了、すぐに次の競技に変わるでもなくスタジオでコメントをつなぎ続けるなどありえない。選手、視聴者、世界のゴルフファンに失礼だ。(70歳以上男性)
※プレーオフはライブストリーミングで配信を継続、未放送部分は放送当日夜間に録画で放送
- ・ グリーンを狙うショットのカメラアングルが、ボールとホールの距離感がつかみにくい。ピン位置も見にくく、ショット後の着弾前にカットが替わる。ゴルフが五輪に復活して2大会目、蓄積がないのかもしれないが撮影ノウハウは世界中にある。ぜひ検証して改善してほしい。(60代男性)

○開会式 1,573件

- ・ 派手な演出ではなかったが、多様性を尊重し互いのことを認め合い、支え合っていくことの大切さがよく表現されていた。1つにまとまって世界に発信できてよかったと思う。(70歳以上男性)
 - ・ 耳が不自由な家族がいる。これだけ大規模で世界的なイベントなのに画面に手話通訳がなかったことは、配慮を欠きオリンピックの理念にも反していると思う。家族と一緒に楽しみたいので、ぜひ手話でも見られるようにしてほしい。(50代女性)
- ※8月5日深夜に字幕、解説、手話付きハイライト「手話で楽しむ！みんなのオリンピック開会式」を放送

○テニス 1,519件

- ・ テニスに限ったことではないが、オリンピック放送は日本人が負けると急に扱いが少なくなるので困っている。大坂選手も錦織選手も敗退したとはいえ、決勝と準決勝は全試合を見たいし録画もしたい。男子シングルの準決勝と決勝を放送してほしい。(60代女性)
- ・ 日本選手ではなく、フェデラー選手とズベレフ選手のファン。フェデラーが不在の今回、サーシャ(ズベレフの愛称)が決勝に勝ち進みそれを放送してくれたのはありがたかった。(40代女性)

○柔道 1,333件

- ・ (女子78キロ級・男子100キロ級)画面右上テロップに「準々決勝 濱田尚里 ウルフアロン出場」とあるが、画面の試合は別の選手。この後何番目の試合なのかを表示してほしい。また、ふだんの柔道放送ならすぐに出ていたトーナメント表もなく、会場の進行がつかめない。(60代男性)
- ・ (女子48キロ級)渡名喜選手が決勝で敗れ畳を降りた直後のインタビュー。涙もぬぐえずに精神的にもつらい状況でインタビューする光景は、見せられるほうも心苦しくなった。(50代男性)

○バレーボール 1,233件

- ・ ドローンか何かでボールを追いかけているかのような激しいカメラワークが大変見づらく、画面酔いした。プレー中に動くカメラはボールを追いくいし、バレーボールでは、コートに対して横からのアングルでラリーを撮るのが最も見やすいと思う。(年代不明女性)
- ・ (男子準々決勝)試合後すぐにスタジオトークの時間になった。負け試合であっても選手の表情を追ってほしいし、主役は選手のはずだ。すぐに映像を替えないでほしい。(40代女性)
- ・ 前回の東京オリンピックも見たが、そのとき最も印象深かったのが“東洋の魔女”バレーボール女子だ。いまテレビで再びバレーボールを見て感慨深いし、もう一度強いニッポンを見てみたい。(70歳以上女性)

○陸上 1,072件

- ・ 三浦選手が決勝に進出した男子3000メートル障害。8Kだけでしか放送されないと聞いてあきらめていたところ、総合テレビで生中継といううれしいサプライズに感謝。おかげでこの種目史上初の入賞の瞬間を目撃することができた。(60代男性)
- ・ マラソンはレースもすばらしかったが、早朝から尽力してくれたボランティアの方々をねぎらいたい。公道競技はじめ大会が無事に終わったのはあの人たちのおかげだし、閉会後には“縁の下の力持ち”にスポットを当てた特集番組もぜひ制作してほしい。(70歳以上女性)

○閉会式 1,000件

- ・ 台風が接近していたのはしかたない。だがなぜニュースではなく閉会式のほうが画質の悪いサブチャンネルだったのか。録画の画質は全く見られたものではなく裏切られた思いだ。(50代男性)
- ・ (Eテレでは)手話通訳が画面端のワイプでなくキャスターのような立ち位置で出ていたのは新しい試み。見やすかったし、ろう者による通訳だったので内容や臨場感がろう者にもしっかり伝わったと思う。今後はぜひほかの番組でも手話通訳を広げる試みを続けてほしい。(50代女性)

■ETV特集
「ドキュメント」

精神科病院×新型コロナ

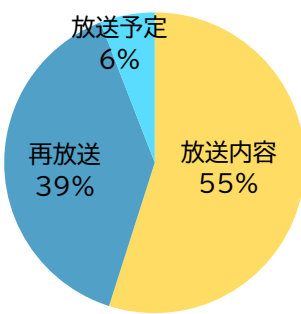
7月31日(土) Eテレ 後11:00~11:59



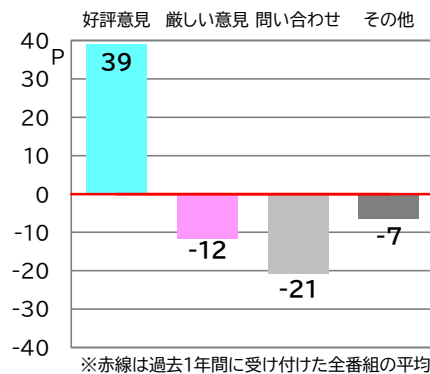
反響51件 ※7月26日~8月1日で集計
(好評意見23件、厳しい意見3件、問い合わせ18件)

都内一円から精神疾患のあるコロナ陽性患者を受け入れている都立松沢病院のコロナ専門病棟に密着しました。クラスターが発生し、一般の病院での受け入れが困難とされた人たちが次々と運び込まれる中、病院にしか居場所のない患者や受け入れを拒む家族、ひっ迫する医療体制の中で葛藤する医療者たち、行き届かない行政の指導の実態が見えてきました。コロナがあぶり出した日本の精神医療の課題を描いたことを高く評価する声が、幅広い年代から寄せられました。

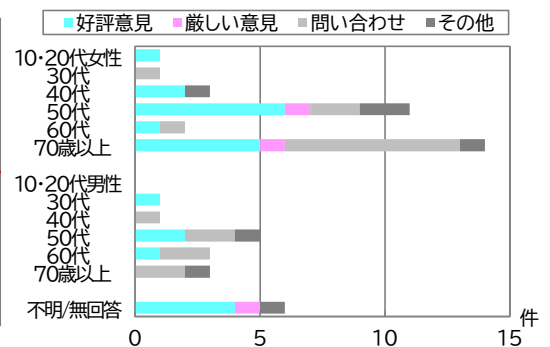
●受付内容の内訳



●意向種別の相対比較



●意向種別×年代性別



【主な内容】

< 好評意見 >

- 重症コロナ患者を受け入れる都立松沢病院の懸命な治療の取り組みや、病院に閉じ込めることに傾いている日本の精神科医療の立ち遅れなど、私たち一般市民の無関心を含め、鋭く問いかける覚悟を感じた。(70歳以上女性)
- 精神科病棟がコロナでどういう状態になるのか、本来なら日本の国民が1人1人受けられるはずの地域医療が見捨てられている現状を描いていた。ぜひ違う視点で、精神科病棟の実態について継続した取材と報道をしてもらいたい。(50代男性)
- 普通に生活していたら見えないことを知ることができた。弱い人にしわ寄せがいつてしまうこの社会の構造に、さらにメスを入れてほしい。(60代男性)
- コロナを通して精神病院の実態をきちんと描いていた。分からなかったことをあぶり出してくれるような番組だった。(70歳以上女性)

< 厳しい意見 >

- 長期で映像を撮影することにこだわるより、もう少し早いタイミングでニュースなどでもこのテーマについて放送してもらいたかった。(年代不明)

※今月から、構成を一部変更しています。